

記入年月日
令和 5 年 4 月 3 日

事務事業名		上管トンネル整備事業調整協議会事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050301000966
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系	総合計画の施策名	0503	道路網の整備						建設課
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	03	道路網の整備					グループ	建設グループ
	手段名	01	①市道の整備					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業		
法令根拠	上管トンネル整備事業調整協議会規約					期間限定複数年（平成29年度～年度） ⇨ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 平成3年から整備が始まった県道石岡筑西線の上曽トンネル整備について、新たな整備手法として県知事から提示された合併特例債を使用した手法を実施するにあたり、両市の各々の財源対策や関係機関との連絡調整などを行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 調整協議会の開催、各々の財源調整、関係機関との連絡調整。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
調整協議会の開催、各々の財源調整、関係機関との連絡調整	協議会開催回数	回	3.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
整備事業調整協議会構成市（石岡市、桜川市）	構成団体数	市	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
上曽トンネルの整備促進を図る	財源の確定種類	種	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	0		
			事業費計(A)	千円	0	0	0		
	量		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
			合 計	0			合 計	0

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	調整協議会の開催、各々の財源調整、関係機関との連絡調整	調整協議会の開催、各々の財源調整、関係機関との連絡調整	調整協議会の開催、各々の財源調整、関係機関との連絡調整

事務事業名	上管トンネル整備事業調整協議会事業	事務事業No.	50301000966	所属課	建設課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成3年から整備が始まった県道石岡筑西線の上管トンネル整備について、茨城県の財源の問題や取り付け道路の用地の未買収などから、遅々として進まない中、県知事から提示された新たな整備手法を実施するにあたり、両市の各々の財源対策や関係機関との連絡調整などを行うため平成28年度から開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
行政懇談会でも、数か所の行政区より、遅々として進まない上管トンネルの整備事業に対して、早く事業を再開し完成してほしいと要望が出ている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 国道や県道など、機能に応じた道路ネットワークの整備を進める事になるので、結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 市で進める事業の事業調整を図る団体であるため、妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がない 調整が必要とされる箇所を、そのたびに事業摺合せを行っているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 市で進める事業が進捗しなくなる。
効 率 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない ほかに類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	☒ 削減余地がない 当該業務に要する職員の人件費のみであり、業務量的には適切である。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	☒ 公正・公平である 事業完了後は不特定多数の方が利用する施設となるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	道路整備計画について県及び石岡市との協議を行い、工事発注。設備工事等の発注に向けての調整を図った。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上 維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上 維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上 維持		○																	
	低下																			
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果	④																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		☐	